

交遊抄

「1年前の」は、借金の申し込みか? と。「やあ、なんの顔ついで、同僚の わらふみと名伝言メモにあったサイト 乗の男性からにアクセスした。

電話があつた。驚いた。「一ヶ月一ル し」だ」と回憶。えつ。ヒ 「ディングス」とこの上場

ロ!!!

山口洋。京都中立修学院小学校で同級だった四年間、四六年中、共に過ごした親友だ。一人とも特段の取り柄もなげ、時間をもあつておまつしていた。

クワガタ虫を捕まつたり、京都大学の学生紛争を見物したり、吉本新喜劇の真似をしたり

して、イタズラがばれて先生にとつめられぬ隠密犯。厄介者の一人だった。

煙草なるヤンチャがいなかった。

なつた。
もう一名、同級生に溝

た。ソーグ大分トリニ

ータの社長をしていくじ

だ。うくな人生を歩んで聞く。次は三人で飲みた

はいまい。居所を調べて い。(なかむり・こわや連絡してきただといひ) =慶應大学教授)

30年ぶりの再会

中 村 知 伊 哉

企業 保育園経営で最大 手の代表、とある。借金 どうつか、私の全 財産を一年で稼ぐ 人物ではないか。 早速、飲んだ。

「お前が役人にな つて、今や教授と は」「貴様が教育 産業の社長とは」 わはは。愉快やね。 以来、しばしば会 い、私は彼の会社 にも関わるやうにな つた。